

平成 27 年 3 月 3 日

各 位

会 社 名 ゼネラルパッカー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 梅森 輝信
(コード: 6267 東証 JASDAQ・名証第二部)
問 い 合 せ 先 常 務 取 締 役 小 関 幸 太 郎
電 話 番 号 0568(23)3111(代表)

平成 27 年 7 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異 及 び
通 期 業 績 予 想 の 修 正、並 び に 剰 余 金 の 配 当 及 び 配 当 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 26 年 12 月 2 日 付 当 社 「平 成 27 年 7 月 期 第 1 四 半 期 決 算 短 信 [日 本 基 準] (非 連 結)」 に て 公 表 いた した 平 成 27 年 7 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (平 成 26 年 8 月 1 日 ~ 平 成 27 年 1 月 31 日) の 業 績 予 想 と 本 日 公 表 の 実 績 に 差 異 が 発 生 し ま し た の で お 知 ら せ いた し ま す。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 7 月 期 通 期 (平 成 26 年 8 月 1 日 ~ 平 成 27 年 7 月 31 日) の 業 績 予 想 並 び に 配 当 予 想 を 下 記 の 通 り 修 正 いた した の で お 知 ら せ いた し ま す。

記

1. 業績予想と実績との差異

平成 27 年 7 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 個 別 業 績 予 想 と 実 績 の 差 異
(平成 26 年 8 月 1 日 ~ 平成 27 年 1 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 26 年 12 月 2 日 発表)	百万円 2,400	百万円 179	百万円 180	百万円 120	円 銭 13.56
今回実績 (B)	2,158	168	173	120	13.55
増 減 額 (B-A)	△241	△11	△6	△0	—
増 減 率 (%)	△10.0	△6.2	△3.7	△0.1	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 7 月 期 第 2 四半期)	1,989	72	74	52	5.92

2. 通期業績予想の修正

平成 27 年 7 月 期 通 期 個 別 業 績 予 想 数 値 の 修 正
(平成 26 年 8 月 1 日 ~ 平成 27 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 26 年 12 月 2 日 発表)	百万円 4,500	百万円 208	百万円 210	百万円 140	円 銭 15.81
今回修正予想 (B)	5,100	295	300	200	22.50
増 減 額 (B-A)	600	87	90	60	—
増 減 率 (%)	13.3	41.8	42.9	42.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 7 月 期)	4,850	229	234	160	18.03

3. 差異及び修正の理由

(1) 第2四半期(累計)個別業績予想と実績との差異の発生理由

第2四半期累計期間の売上高につきましては、売上予定に対して高額案件で売上時期の遅延が複数発生したことから、前回発表予想を241百万円下回る結果となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費は計画を下回ったものの、売上高の減収に伴い売上総利益が計画より減少したことから、営業利益は前回発表予想から11百万円減少し、経常利益は前回発表予想から6百万円減少する結果となりました。

四半期純利益につきましては、経常利益が減少したものの、税金費用の調整の結果、ほぼ前回発表予想通りとなりました。

(2) 通期個別業績予想の修正理由

下半期の売上高につきましては、包装機械の受注が好調に推移するとともに、大型包装システムの受注も確保できたことにより、第2四半期累計期間の繰越分とあわせて、当初計画を大幅に上回る見通しとなりました。

この結果、通期売上高予想につきましては、前回発表予想を600百万円上回る見込みであります。

通期の利益面につきましては、包装システムの増加に伴い売上総利益率の低下が見込まれるものの、増収に伴い売上総利益は当初計画を120百万円程度上回る見通しとなりました。一方、販売費及び一般管理費は、下半期に研究開発費や人件費等が増加することに伴い、通期では当初計画を上回る見通しであります。

この結果、通期の営業利益は、前回発表予想から87百万円増加する見込みであります。

このため、通期の営業利益予想を295百万円、経常利益予想を300百万円、当期純利益予想を200百万円に修正いたします。

4. 剰余金配当(第2四半期末)の実施及び配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当(第2四半期末)の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成26年12月2日公表)	前期実績 (平成26年7月期)
基準日	平成27年1月31日	同左	平成26年1月31日
1株当たりの配当金	4円00銭	3円50銭	3円50銭
配当金総額	35百万円	—	31百万円
効力発生日	平成27年4月3日	—	平成26年4月4日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 平成27年7月期配当予想の修正

	年間配当額				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成26年12月2日発表)	円 銭 —	円 銭 3.50	円 銭 —	円 銭 3.50	円 銭 7.00
今回修正予想			—	5.00	9.00
当期実績	—	4.00			
前期実績 (平成26年7月期)	—	3.50	—	3.50	7.00

(3) 修正理由

当社は、安定配当を堅持しつつ、業績及び配当性向等を総合的に勘案した利益還元を行うことを基本方針としております。

第2四半期末の配当につきましては、3円50銭の予想としておりましたが、業績が概ね予想通りとなり、前年同期比増益となったことから、1株当たり4円の配当といたします。

期末の配当予想につきましては、業績予想を上方修正することを踏まえ、1株当たり5円に修正いたします。これにより、1株当たりの年間配当予想は、2円増加の9円となります。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上